

2023年度 スマートソリューション・プログラム 「テーマフリーソリューション」公募要領

1. 公募目的

MM スマートソリューション・プログラム(以下、「本プログラム」という。)は、みなとみらい21地区(以下、「みなとみらい」という。)の豊かな都市空間、本社・R&D拠点、MICE・エンタメ施設等多様な都市機能の集積といったポテンシャルを活かし、街の中での実証実験等を通じた新たな事業の創出、そして横浜におけるビジネスエコシステムの形成を目指しています。本募集では、みなとみらいの価値向上に繋がるソリューションを幅広く募り、MMスマートソリューション・コンソーシアム実行委員会(以下、「MM コンソーシアム」という。)の参加団体(以下、「パートナー企業」という。)および、みなとみらいの事業者と連携することにより、みなとみらいの価値向上に繋がる更なるビジネスネットワークの拡大と様々な種類の実証実験実施に向けた支援を行い、新たなサービスや製品の具現化を目指します。なお、本募集は、実証実験などの社会実装に向けた費用を委員会やパートナー企業が負担するものではありません。

2. 公募期間

2023年7月10日(月曜日)から2023年8月9日(水曜日)23時59分まで

3. 公募対象者

会社の規模を問わず、大企業・中小企業・ベンチャー企業どなたでもご参加可能です。

4. 公募内容

応募する企業が有する革新的な技術・事業のアイデアを用いた、みなとみらいの街および社会の課題を解決するサービス・製品の提案。

サービス・製品が具現化することで、みなとみらいの先進的なイメージを強化する、価値を向上させる内容であれば提案のテーマは問いませんが、成果として2023年内を目途にプロトタイプの開発完了、2024年2月初旬に予定するイベントにおいて、公衆を対象に訴えることを計画として目指して下さい。

一例として、本プログラムではこれまでに以下のテーマで公募を行っておりますが、これに限るものではありません。

(例)

- ・with/post コロナの社会に必要な技術・ビジネス、5Gを活用した技術・ビジネス
- ・エリア内外の回遊性向上と連携強化に寄与する事業・アイデア
- ・エリアの豊かな空間を活用し、来街者が交え・滞留できる環境やアクティビティづくりに寄与する事業・アイデア

【イメージ:過去開催したイベント例】



5.本公募に関する補足事項

- ・応募する企業と、パートナー企業やみなとみらいの事業者と連携し、みなとみらいでの実証実験を行うことを目指すものとします。
- ・提案は本公募にのみ使用し、他応募者を含む第三者に無断で公開することはありません。
- ・採択した企業は社名、ロゴ、提案内容の概要を、ウェブサイトやプレスリリース等で公開する予定です。よって、パートナー企業または事務局と守秘義務契約(NDA)を締結することは想定しておりません。必要な場合は個々の責任の上で知的財産権の取得をお願いいたします。

6.本公募に参加するメリット

- ・住民、就業者、来街者等の多いみなとみらいにおいて実証実験を行い、利用者の意見を事業、アイデアへ還元することが可能です。
- ・半公共空間における実証実験等を通じて、新しい技術、事業のアイデアを公衆に対して広く発信することが可能です。
- ・みなとみらいに拠点のある大企業と連携したイノベーション創出が可能です。

7.採択された企業に対する事務局支援内容

プロジェクト実現に向けた連携企業の探索、実証実験のフィールド確保や関係機関との調整、実証実験の広報活動、プレスリリースを支援します。その他、必要な支援があれば事務局と都度調整の上、行います。

8.参加費用

無料とします。

9.採択予定の企業数・選考方法・時期

(1) 採択予定数

応募いただいた内容をもとに、審査のうえ、最大5社を採択します。

(2) 採択予定時期

2023年9月中旬

(3) 審査項目・配点・審査方法

応募内容をもとに、委員会にて下記の審査項目・視点に基づき、書類審査を実施します。

審査項目	配点	審査の視点
新規性	10点	・独自のプロダクト・サービスであるか ・競合との差別化を図っているか
話題性	10点	・世間に対するインパクト・効果が見込めるか ・メディアに取り上げられるなど、話題になりそうであるか ・一過性のものでなく、将来的な発展・効果がありそうか
実現可能性	10点	・解決したい課題とソリューションが明確になっているか ・提案したプロジェクトの中で展開するサービス、製品は本当にユーザーに使われるものであるか ・提案したプロジェクトのスケジュールに無理はないか
親和性	10点	・みなとみらいで実施する意義があるか ・みなとみらいの就業者、住民、企業等に寄与するか ・みなとみらいを活性化させる提案になっているか

10.スケジュール

・2023年8月～9月 採択企業の選考

本プログラムの委員会において厳正なる選考を行います。審査に当たり、必要に応じて事務局から内容に関するヒアリングを行う場合があります。

・2023年9月中旬 採択企業の決定

9月15日までにメールにて結果をご連絡いたします。選考の遅れなどにより、やむを得ず9月15日までに連絡できない場合、速やかに全応募者へご連絡いたします。

・2023年9月 キックオフミーティング

・2023年10月～2024年1月 インキュベーション期間

パートナー企業および事務局と連携しながら、半公共空間での実証実験または展示に向けたプロトタイプの開発を行います。

・2023年2月上旬 半公共空間での実証実験または展示の実施

11.応募方法等

「MM スマートソリューション・プログラム」応募申込書およびプレゼン資料等、補足となる資料を添付の上、以下メールアドレスまでご送付下さい。

Mail:innovation★ymm21.or.jp (★マークを@に変えてください)

12.主催・協力企業・団体

主催:MMスマートソリューション・コンソーシアム実行委員会

(以下、委員会構成企業)

京セラ株式会社

京浜急行電鉄株式会社

株式会社資生堂

住商ビルマネージメント株式会社

日産自動車株式会社

富士フィルムビジネスイノベーション株式会社

ぴあ株式会社

三井不動産株式会社

三菱地所株式会社

株式会社横浜銀行

一般社団法人横浜みなとみらい 21

13.本プログラムについてのお問い合わせ

MMスマートソリューション・コンソーシアム実行委員会事務局(担当:柳澤、宮澤)

所在地:〒221-0056 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番5号

クイーンズスクエア横浜クイーンモール3階

Mail:innovation★ymm21.or.jp (★マークを@に変えてください)

電話:045-682-4404

MM スマートソリューション・プログラム 「テーマフリーソリューション」応募申込書

◆応募方法

以下の項目を記入し、**8月9日**までに応募フォームよりお申込みください。

※記載欄はご自由に調整いただき、適宜、図や画像を用いてご説明ください。

※補足で別途資料がある場合は、圧縮してアップロードください。

※申し込みをいただき次第、提案内容について検討しますので、早めの申し込みをお願いいたします。

◆応募に関する注意事項

- **プレゼン資料等、補足となる資料を別途添付してください。**
- 提出書類は返却致しませんのでご注意ください。
- 字数の制限はありませんが、本応募申込書は全体でA4用紙5枚以内に収めてください。
- 補足資料以外に任意の様式で資料の添付が可能です。
- 審査に当たり、必要に応じて事務局から内容に関するヒアリングを行う場合があります。
- 審査内容につきましては公表できませんので、予めご了承下さい。
- 審査結果のご連絡は**9月中旬**を予定しております。
- 参加者が本プログラム過程で、単独で新しく創出した「成果」に係る知的財産権は参加者に帰属します。
「成果」に連携企業が所有する知的財産権が含まれる場合、連携起業の知的財産権について権利は移転せず、当該部分を除き、参加者が単独で開発した部分の知的財産権のみが参加者に帰属します。
- 応募書類に記載された個人情報本事業およびそれに関連した目的の範囲内で使用します。

<申込者概要>

会社名	
代表者名(フリガナ)	
会社等の所在地	〒
HP アドレス	
プロジェクト責任者 電話番号	※連絡の取りやすい連絡先
プロジェクト責任者 E-mail	※連絡の取りやすい連絡先
経営理念・ビジョン	
事業概要	
経営メンバーの紹介	※役員、チームメンバーの経歴や経験・スキル等、貴社の特長となる点を中心にご記入ください

<提案内容> ※枠にとらわれず、自由にご記入ください。

応募アイデアの概要(プログラムで実施したい事業内容)を簡単にご説明ください(100 文字以内)

※記入例:弊社(申し込み企業様)の●●を活用して◆◆を実現したい

上記の「◆◆を実現したい」について詳しく教えてください。

※「誰が抱えている(ターゲット)」「どのような課題や欲求を(ニーズ)」「どのように解決するか(解決策)」を具体的にご記入ください。

<ターゲット>

<課題や欲求(ニーズ)>

<解決策>

上記の「弊社(申込企業様)の●●」について詳しく教えてください。

※貴社の独自性を、競合他社名およびそのサービス内容を記載の上、それとの比較を含めてご記入ください(最大3社)

<競合企業名①>

<競合企業のサービス内容とその特長①>

<競合企業名②>

<競合企業のサービス内容とその特長②>

<競合企業名③>

<競合企業のサービス内容とその特長③>

ご提案の事業をこのプログラムで実施することによって、みなとみらい 21 地区にもたらされる効果を教えてください。また、どのような新規性(取り組みの目新しさ)があるのかも併せてご記入ください。

<もたらされる効果>

<新規性(取り組みの目新しさ)>

当プログラムの支援の必要度について、次のとおりご記入ください。

特に必要:◎ あれば良い:○ 不要:×

- ・ プロジェクト実現に向けた連携企業の探索:
- ・ 実証実験のフィールド確保や関係機関との調整:
- ・ 実証実験の広報活動、プレスリリース:

<上記以外で必要な支援や事務局に対する要望があればご記入ください>

みなとみらい 21 地区のうち、連携を期待している民間施設・公共インフラ・イベント等があれば教えてください。また、それはどのような連携になりますか? ※複数施設ある場合は各々ご記入ください。

<想定される連携施設>

<連携内容>

上記の連携以外でご提案の実現に必要なリソースを教えてください。(例:プロダクトを作るのに3か月かかる、通信事業者との連携が必要、規制を撤廃する必要がある等)

外部からの資金調達実績がある場合、調達先を教えてください(調達額は記入不要です)。
※外部からの資金調達実績がない場合は「なし」とご記入ください。

他のアクセラレーションプログラムへの応募、参加実績を教えてください。
※応募、参加実績がない場合は「なし」とご記入ください。

最後に、何かお伝えしたいことがあれば自由にご記入ください。